

熊本県学力・学習状況調査について ～結果報告と今後の取組について～

昨年12月に実施されました「熊本県学力・学習状況調査」について、調査結果を踏まえた今後の指導方針についてお知らせいたします。

本調査は、熊本県内の児童生徒の学力の定着状況や学習習慣を把握し、指導の改善や学習環境の充実に役立てる目的としています。学力調査(国語・数学・英語の3教科)と生活・学習状況アンケート(I-check)の結果を分析し、本校における学習の傾向や課題を明確にすることで、より効果的な指導の工夫につなげてまいります。引き続き、生徒たちの学びを支えるために、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本校における調査の結果(各学年教科の結果概要)

【中学1年】

- 国語の結果(総合)は、全国及び熊本県平均を上回っている。
- 数学の結果(総合)は、全国平均をやや下回っているが、県平均と同程度である。
- 英語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均を上回っている。

【中学2年】

- 国語の結果(総合)は、全国及び熊本県平均を上回っている。
- 数学の結果(総合)は、全国及び熊本県平均を上回っている。
- 英語の結果(総合)は、全国平均を下回っているが、県平均を上回っている。
- 昨年度の結果と比較した結果は、1年時の結果より上昇している。

本校におけるI-check調査の結果(各学年の結果概要)

【中学1年】

- 4月の調査と比較し「対話・話し合い」、「他者からの評価」、「発信力」、「学級の絆」の項目について伸びが見られた。
 - ・自分の意見を積極的に伝える生徒が多く、生徒は意欲的に学習活動を行っていること。
 - ・授業など学校生活の中で、認められたり、賞賛されたりする機会が多くあること。
 - ・行事等にクラスで団結して取り組み、その達成感を感じていること。等の取組の成果であると考えています。
- 一方で、「生活習慣」、「学級の規範意識(社会における規範意識と別項目)」等については課題が見られる。
 - ・朝自分で起きること、前日のうちに準備物の確認を十分に行うこと。
 - ・授業中に先生の指示をしっかりと聞き、集中して学習に取り組むこと。等の取組や生活についての質問で数値が低く、意識した取組が必要であると考えています。

【中学2年】

- 4月の調査と比較し「対話・話し合い」、「発信力」、「成功体験と自信」の項目について伸びが見られた。
 - ・日頃の取組を通して、自分の意見・考えを発信する機会を設けていること。
 - ・班編制の工夫により、生徒自身が安心して対話ができる環境づくりを行っていること。
 - ・学校行事にクラスで団結して取り組み、達成感や充実感を感じじることができるようになります。等の取組の成果であると考えています。
- 一方で、「学級の規範意識」、「生活習慣」については課題が見られる。
 - ・4月当初にはできていた、クラスの中でやるべき事をしっかりと行おうとすること。
 - ・スマートフォンの使用時間を制限し、短時間の使用にすること。
 - ・できるだけ早い時刻に就寝すること。等の取組や生活についての質問で数値が低く、意識した取組が必要であると考えています。

課題の改善に向けて

引き続き

これまで取り組んできたことを引き続き行なっていきます。

※熊本県の詳しい結果については、県のホームページに掲載されます→
(2月末公表予定)



確実な基礎・基本の確実な定着が図れる授業を行なっていきます。

そのために

学校での学習に集中し、効果的に学ぶためのルールや習慣(学習規律)を徹底していきます。

特に、西南中では**聴く態度の育成**に力を入れていきます

※各教科の学習の中では

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざします。
→授業の中で基礎的・基本的事項の定着を確認する場面を設けます。
- 教科書等を用いた予習(家庭学習)の徹底を行なっていきます。

引き続き、生徒の学力向上に向けて頑張ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

学校HPにはQRコードをクリックでアクセス!



『主体性と協同性を育み、夢の実現に挑戦する生徒の育成』
「凡て事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」

西合志南中学校
学校通信
令和7年2月28日
第11号
発行責任者
大山 寛
井上 竹久